

ゆたかに労働と 生活の場をめざして

発行 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町2-1159番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ作業所 小平市小川町2-1159番地 Tel 042-345-4575
あさやけ第二作業所 小平市小川町2-1159番地 Tel 042-345-1564
サングリーン 小平市小川町1-943番地 Tel 042-345-1585
あさやけ魔の台作業所 小平市小川町1-411番地 Tel 042-346-2167
共同ホームつくしんば 小平市小川町1-944-30番地 Tel 042-342-7550
共同ホームこぐら 小平市上水南町2-21-17番地 Tel 042-325-8716
共同ホームサンライズ 小平市小川東町5-2-11番地 Tel 042-346-0472
地域生活支援センター「あさやけ」 小平市小川東町4-2-1番地 Tel 042-345-1741
小平元気村おがわ東1階
共同ホーム一歩 小平市花小金井7-2-24番地 Tel 042-349-0305
あさやけ風の作業所 小平市中島町3-8番地 Tel 042-349-2366
共同ホームはやぶさ 小平市小川町1-497-13番地 Tel 042-313-6269
共同ホームさらさ 小平市小川東町5-2-12-1番地 Tel 042-313-2217



なかまちテラスの一角にあるカフェです。図書館で借りてきた本を読みながらお茶を飲んだり、公民館の帰りにお仲間とおしゃべりしたり。

カフェで働く

CAZE CAFE なかまち



仲間紹介

ひとりひとりが太陽

今のペースがちょうどいい！

小林 都さん
(サングリーン)

今回はサングリーンの宇宙（そら）班に在籍している小林さんを紹介します。自己紹介としてご本人に文章を書いてもらいました。

★★★★★★★

はじめてサングリーンに行つたのは二〇一六年十月に支援センターあさやけの花形さんと見学と

体験で働かせてもらったのがきっかけでした。やはり、はじめは緊張して、何をすればいいのかがわからず色々と教えてもらいながら作業を覚えていったと思います。

入ってからは月・木・金曜日の九時から十二時まで調理班（宇宙班）として焼き菓子作りやみんなの昼食作りをしています。十一月には日帰り旅行・一泊旅行がありました。わたしは一泊旅行を選びました。山梨県立リニア見学センターやみかん狩り、小田原城観光をしてきました。当日は雪が降りましたが、箱根湯元温泉ホテルおかだというところに宿泊し、宴会ではカラオケを楽しみました。

今年に入つてからは九時～十四時三十分まで働くことになり、今までしていなかつた片付けなどをやることになり意外に大変

バウンドケー キづくりの日になんなどなあと思いました。
なんなどなあと思いました。
林さん。入所して七ヶ月、サングリーンの雰囲気にも調理の作業にも慣れてきて、明るい笑顔を見せてくれます。現在週三日通所、残りの二日は病院OTに通っています。このペースがご自身にとつて「ちょうどいい」そうです。自分が元気でいられる生活リズムを見つけたことで、日々の生活を楽しむよりも出できます。自宅でも料理する機会を増やせたらいいなという気持ちもあるようです。これからも「ちょうどいい」ペースを大切に、日々を楽しめたらしいですね。

地域生活支援センターは、平成七年に発表された国の障害者プランを基にモデル事業として始まり、平成八年から事業化されました。事業化までは長い間議論がなされ、精神に障害を持つ方が夕方や休日に集まりおしゃべりや食事ができる憩いの場、当事者の自主性が尊重される場、できれば二十四時間相談ができる場、街の中にあり気軽に利用できるような場としての機能を持つ施設と考えられました。

ときわ会では平成十年に地域生活支援センターあさやけを開設しました。開設後、この十数年間に障害者自立支援法、さらには障害者総合支援法と法律が変わり、業務も増えてきました。現在は、①地域の精神障害者や家族等からの相談支援②気軽に来ておしゃべり等ができる交流室の運営③家庭訪問や病院・市役所等へ付き添う日常の生活支援④作業所への通所やグループホームへの入居、ホームヘルパーの利用等にあたつてのサービス等利用計画の作成及び調整⑤精神科病院からの長期入院者の退院に向けた支援や、退院後の生活の定着支援⑥障害者がアパート等に住むための居住に関する相談支援を行っています。

「利用して良かった」と思つてもらえる場を目指して

地域生活支援センターあさやけ
伊藤 善尚

支援センター開設当時は、今よりもう少しゆつたりみんなと話をする時間がありました。あさやけ第二作業所の二階で活動していましたが、病院や市役所の職員の紹介で来たり、友達に誘われてくる方も多かったように思います。誰でもいつでも来られてみんなとおしゃべりをしたり、夕ご飯を食べたり、入浴設備もあったので、風呂に入つて帰る人もいました。年々センターのこととも知られてきて、利用者も増えてきました。平成十六年に現在の元気村に移り、公共の場所での活動となり、幅広い紹介先や遠方からも相談に来られるようになつてきました。最近では「職員がいつも忙しそう」「相談電話がつながりにくい」「夜間ももっと長く開けていて欲しい」との声をよく聞きます。利用者の方の声を大切にしなければという思いは、開設当初から依然として変わつていません。毎日の相談や交流活動を丁寧に対応して「利用して良かった」と思つてもらえるように、これからも努めたいと思います。

サングリーン特集！ 縫製作業の星班はきょうされんふきんとリコーダー袋をやってます！

サングリーンには三つの作業班があります。ダイレクトメールの発送作業や石鹼作業を行う虹班、調理や焼き菓子製造を行う宇宙班（そら）、きょうされんふきんや縫製作業を行う星班です。今回は星班の作業の様子をご紹介します。



ひも結びをして完成



ひも通し

サングリーン 星班（縫製作業）

サングリーンには三つの作業班があります。ダイレクトメールの発送作業や石鹼作業を行う虹班、調理や焼き菓子製造を行う宇宙班（そら）、きょうされんふきんや縫製作業を行う星班です。今回は星班の作業の様子をご紹介します。

四月から職員体制やメンバーの作業班の異動もあり、星班はメンバー十一名、職員三名でスタートしました。主な星班はきょうされんふきんの製造や海外輸出向けのリコ一袋の製造です。リコーダー袋の製造は昨年十月から始まりました。始めた当初は少ない人數で、ミシンを使う工程はほとんど職員の仕事でした。まずは職員が作業工程を理解し、細かい工程をどうメンバーに関わってもらうかと考え工夫をしてきました。毎月の納品数が千本程度だったものが、徐々に生産量が増えていきました。四月から作業班の人数が増えたことやミシンを使えるメンバーが増えたこともあり生産量はぐぐっと伸びて二千本を達成できそうな勢いです。作業工程は、布切り・口折りアイロン・口縫い・重ね縫い・ベビロックかけ・口返し縫い・角返し縫い・ひも通し・ひも結び・ひも切り・シールアイロン・シールアーロンなどです。手間のかかる作業ですが、ひとつひとつ丁寧に仕上げることを心がけ安定した本数を生産できるようになります。手間のかかるところです。きょうされんふきんの生産ができるよう日々努力しているところです。



口縫い

☆サングリーン商品紹介☆

宇宙班（そら）で製造している商品です。

小平産のブルーベリーを使ったジャムと卵不使用のクッキーを製造



ブルーベリージャム



クッキー(ココア・ピーナツ・紅茶)



ふきんのインターロック

～星班メンバーの声～

◆ミシンをしたり、リコーダー袋の作業をしています。仕事で何かを作ったり、形になっていくのがとても楽しいです。毎日充実しています。S・I

◆4月から縫製作業をするようになり2か月が経ちました。ハサミを使ったり細かい作業だったり、器用な方ではないので最初はぎこちなかったですが、だんだん慣れてくると作業が面白くなってきました。最近はミシンも使い始めました。使ったことがなかったので不安でまっすぐ縫うのも大変でした。未だに苦労して使っていますが楽しさも出てきました。これからも色々と覚えて一生懸命作業に取り組みたいと思います。N・S

きょうされん第40次国会請願行動に参加して

去る5月25日、きょうされんでは、第40次国会請願行動を行い、全国各地で集めた100万筆を超えた署名を携え国會議員を訪問しました。また、昨年度に引き続き厚生労働省と交渉し、5政党と政党懇談会をもちました。

私たちは、きょうされん東京多摩中部ブロック代表団の一員として、職員と所員の他に初めてあさやけ作業所とあさやけ風の作業所の家族も加わり参加してきました。一日かけて、実際に14名の議員事務所を尋ね、国会請願署名の取り組みと請願内容を議員や秘書に伝え、紹介議員になってもらえるように依頼して回りました。

政党懇談会では、民進党の初鹿明博議員と障害者福祉について意見交換を行いました。



共産党 吉良よし子議員に署名を渡しました。



社民党 福島みづほ議員と。

見て、びっくり、国会請願行動

あさやけ風の作業所 大西光子

きょうされんの第40次国会請願行動に初めて参加致しました。今まで、毎年みんなで署名活動をして、その署名を国会に請願していた事は知っていました。あさやけでは、家族が参加したのは初めてでした。

永田町で降りて参議院会館に到着しました。受付で通行証を受け取り、講堂に入って座る席もないほどの大勢の人にびっくりしました。北は北海道から南は沖縄まで、各県からきょうされんに加盟している作業所などの人が370名以上集まっていました。障害のある人も参加していました。集まった署名数は103万筆に達している事、びっくりする事ばかりでした。講堂で専務理事の藤井克純氏の話を聞き、63班に分かれて議員事務所を訪問しました。あさやけは22班で、6名で行いました。藤井氏の話はわかりやすく、議員を訪問するなんてと緊張気味の参加者にエールを送って下さいました。

思えば藤井氏は、息子が小平養護学校に入学した時は、養護学校の先生でした。あさやけ作業所の中川所長も先生でした。その後、あさやけ作業所の設立からきょうされんの創設の為に、全国をかけまわっていました。このようなきょうされんの発展ぶりを目の当たりにして、感慨深いものがありました。

運動を継続することの重要性を改めて痛感させられました。来年からは、家族の参加をおすすめ致します。

追伸、議員会館の食堂は安くておいしいよ。

尚、国会請願行動は終了しましたが、署名・募金はその後も集まっており、最終的な集約がまだ終わっていないので、署名数と募金額は、次回あさやけだより7月号にてご報告いたします。署名・募金へのご協力ありがとうございました。

あさやけ署名推進委員会 中島葉子

私たちの作品を見に来てください! ～アートフェスティバルのご案内～

あさやけ風の作業所絵画クラブを語る

～ 豊場人物～

ヒロ君 (風の作業所 絵画クラブメンバー)
ニシさん (アートフェスティバル実行委員)
ヤスさん (某作業所職員) (文中敬称略)



みんなの作品



みんやさん、ヒロ君、ニシさん
(左から)



絵画クラブの道具



各自のお道具



顔シリーズ



恐竜シリーズ



作業所内に展示

- ニシ　いよいよ今年もアートフェスティバルが近づいてきましたね」
ヒロ「今年で3回目です。」
ヤス「年々内容が充実してきますね。」
ニシ「昨年は風の作業所では、クローズアップ作品の恐竜シリーズが注目を集めました。」
ヒロ「あの作品は人気でしたね。グッズがほしいという方もいました。」
ヤス「注目という意味では、ヒロさんの顔シリーズも負けてませんでしたよ。」
ヒロ「そうですか。恐縮です。」
ニシ「しかし毎回よく同じ顔に描けるものですね。」
ヒロ「あれは同じに見えて、実はひとつひとつ一人一人違うんですよ。そのところ見てほしいですね。」
ニシ「そうなんですか！失礼しました。」
ヤス「私も最近ようやくその違いがわかってきました。」
ヒロ「ほんとですか。うれしいです。」
ヤス「一緒に絵画クラブで過ごした仲じゃないですか。わかりますよ。」
ヒロ「ありがとうございます。」
ニシ「今年も会期中の7月3日の午前中に、風の作業所の講師の方が作品の講評をしてくれますね。」
ヒロ「楽しめます。やはり専門家の意見を開けるのは私たちにとっても励みになりますから。」
ヤス「当日は風名物のスコーンや、クッキー、ケーキも販売するんですよね。」
ヒロ「もちろんです。おいしいですよ！」
ニシ「ところで風の作業所の絵画クラブは、今何名ですか？」
ヒロ「11名です。職員は3名。毎週水曜日の午後が活動時間です。」
ヤス「風の作業所は道具が充実していると評判です。」
ヒロ「そうなんですよ。個人個人の道具なんですよ。」
ニシ「うらやましいです。太っ腹な所長さんですね。」
ヒロ「より良い作品を生み出すためには道具はとても大切です。その人その人で描きやすい道具が違いますから。私も黒マジックの色が黒くなってきたのでそろそろ新しいのがほしいです。今度お願いしようと思います。」
ヤス「また新たな顔シリーズがうまれるんですね。」
ヒロ「はい。進化する顔シリーズです。」
ヤス「なるほど。」
ニシ「今年のアートフェスティバル、風作業所のみなさんの個性的な作品に出会えるのを楽しみにしています。」
ヒロ「お待ちしています。」



廃品回収のお知らせ

5月の廃品回収の回収量は13,075kgでした。内訳は新聞9,550kg、雑誌・ダンボール3,525kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて202,845円でした。

次回は7月15日（土）が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。